

第1学年 社会科(地理的分野)学習指導案

1 単元名 「世界の諸地域」 —南アメリカ州— (帝国書院)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容(1)ウ「世界の諸地域」を受け、南アメリカ州において、地域的特色を捉えさせる学習として設定したものである。南アメリカ州の地域的特色を捉えさせるに当たっては、「経済成長と環境保全」を主題とし、学習問題を設定して地域的特色を追究するように単元構成する。

南アメリカ州のアマゾン川の流域には、世界の約3分の1の熱帯林が広がり、数多くの動植物が生息している。そこでは、先住民が採集や焼畑農業などの自給的な生活を送ってきたが、19世紀末になるとゴムの大規模農園が造られ、さらに、20世紀後半にはアマゾン盆地を横断する大きな道路が建設され大規模な開発が始まった。その結果、ブラジルは、かつてのコーヒーを中心とするモノカルチャー経済から脱し、機械や肉類、大豆、さとうきびから作られるエタノールなどの輸出国となり、その輸出額も1970年から2009年までの約40年の間に約57倍にも増加した。しかし、その一方で、広大な熱帯林が失われ、そこに生息する貴重な動植物の絶滅や地球温暖化の進行、先住民の伝統的な生活ができなくなることなどが心配されている。アマゾンの開発は、国を豊かにし経済を成長させるが、環境を破壊し世界の国々や将来の世代に大きな影響を与えることになる。「経済成長と環境保全」のバランスを取り持続可能な開発について追究することは、地理的な見方や考え方の基礎を培い、地域的特色や地域の課題を捉えさせる上で大変意義があると考えられる。

- 生徒は、世界の諸地域(アジア州・アフリカ州)の学習において、外国資本を受け入れモノカルチャー経済から脱し、経済が急成長した地域の様子について学んでいる。しかし、本単元に入る前に、本学級の生徒(13名)を対象に意識調査を行ったところ、熱帯林の果たす役割や熱帯林減少の影響について、知っている生徒はほとんどいなかった。討論学習については、3回目であり、準備や発表の仕方は少しずつ上手になってきており、自分の意見を発表したいという意欲もある。しかし、資料を読み取る力や文章を論理的に構成する力は未熟であり、有用な情報を適切に選択し、話合いの論点に沿って発言できる生徒は少ない。意識調査においても、討論の学習は好きと答えた生徒は8名であったが、意見を発表するのは得意ではないと答えた生徒が9名いた。その主な理由は、「人前で発表するのは緊張するから」、「きちんと相手に分かるように言えないから」であった。

- 本単元では、単元を貫く問いとして、学習問題Ⅰ「アマゾンの熱帯林はなぜ減少しているのか調べよう」を設定し、熱帯林減少の原因を調べるとともに、開発による経済成長と環境への影響についてまとめる学習を計画する。そして、開発のメリット・デメリットを比較させた後に、学習問題Ⅱ「ブラジルは、熱帯林の伐採によるアマゾンの開発を進めるべきか」の問いを導き出す。さらに、単元の終わりに、これを論題として討論会を行い、経済発展と環境保全という視点から様々な資料を基に多面的・多角的に考察させ、開発により新たな問題が発生している南アメリカ州の地域的特色を捉えさせたいと考える。

討論会に当たっては、生徒一人一人が自信をもって発表できるように、事前に自分の考えをまとめさせることや、相手側の主張に対する質問や反論を準備させておく手立てを取りたい。その際、多面的・多角的な考察ができるようにするため、教師が集めた情報を記載した補助資料を配布する。しかし、中学1年生には難しい資料もあるので、理解しやすい記述に

直すようにする。また、資料の読み取りやそれを根拠とした自分の考えをまとめることが苦手な生徒に対しては、個別にアドバイスを行って準備をさせる。

3 単元の目標

- (1) 南アメリカ州における、経済成長と環境保全について追究する学習問題を基に、南アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとさせる。
- (2) 南アメリカ州における、経済成長と環境保全について追究する学習問題を基に多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。
- (3) 南アメリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集させ、有用な情報を適切に選択させ、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。
- (4) 南アメリカ州における、経済成長と環境保全について追究する学習問題を基に、地域的特色を理解させ、その知識を身に付けさせる。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○南アメリカ州における、経済成長と環境保全について追究する学習問題を基に、南アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	○南アメリカ州における、経済成長と環境保全について追究する学習問題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○南アメリカ州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○南アメリカ州における、経済成長と環境保全について追究する学習問題を基に、地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

5 単元計画（全8時間 本時4/8）

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	【主な評価】(・)	時配
学習問題を つかむ	○教科書や地図帳などの資料を見て、南アメリカ州の自然、歴史、文化などの視点から南アメリカ州について概観する。	○広大な自然を、地図や写真などから読み取らせる。 ○人種・民族構成や文化の特徴から、スペインやポルトガルの植民地だった歴史に着目させる。	・地図や写真、グラフなどから、南アメリカ州の自然、歴史、文化などの特色を読み取り、まとめている。 【技】	1.5
	○南アメリカ州の地域的特色を追究する課題を設定する。	○アマゾン川流域の熱帯林の減少の様子を衛星写真やグラフから読み取らせる。 ○森林の役割について説明し、地球温暖化が進んでいることに触れる。 ○アマゾンに生息する動植物	・熱帯林の地球環境に与える影響を理解している。 【知】 ・アマゾンに生息する	0.5

		の写真を見せ、その希少性について関心をもたせ、学習問題Ⅰへと導く。	動植物に関心をもち、追究すべき学習問題を考え表現している。 【思】	
	アマゾンの熱帯林はなぜ減少しているのか調べよう。		《学習問題Ⅰ》	
調 べ る	○南アメリカ州の産業の変化を、栽培する作物や輸出品に着目して調べ、まとめる。 ○ブラジルの産業が変化した理由を、国の政策の面から理解する。 ○アマゾンでの開発を調べ、熱帯林の減少の理由(学習問題Ⅰ)についてまとめる。	○教科書のグラフから輸出品目の変化や輸出額の増加について読み取らせる。 ○ブラジルが、コーヒーの輸出に依存する経済から、生産と貿易の多角化に取り組んだことに気付かせる。 ○資料集の写真やグラフから、熱帯林の伐採による大豆・さとうきびの大農場や鉱山の開発の様子を読み取らせる。	・南アメリカ州の産業の変化について適切に読み取り、まとめている。【技】 ・ブラジルの経済成長の理由について、理解している。【知】 ・熱帯林の減少の理由を理解している。【知】	1
	○アマゾンの開発がもたらすメリットとデメリットを表にまとめ、話し合うべき問題を見だし、学習問題Ⅱとして設定する。また、これを論題として、意思決定1を行う。	○これまでの学習を振り返らせ、メリットとデメリットをまとめさせる。 ○資料からブラジルに暮らす人々の姿を読み取らせ、立場による捉え方の違いに気付かせる。 ○開発が環境問題を引き起こしていることに着目させ、学習問題Ⅱへ導く。	・開発がもたらす影響をメリットとデメリットの両面から考え、判断し、それを表現している。【思】	1 本 時 (4/8)
	論題 ブラジルは、熱帯林の伐採によるアマゾンの開発を進めるべきか。《学習問題Ⅱ》			
考 え ・ ま と	○学習した内容や提示された様々な資料を活用し、立論や反論を作成する。	○様々な視点から考えられるように補助資料を提示する。	・開発がもたらす影響について様々な視点から考えまとめている。【思】	1
	○班で役割を分担し、作成した立論や反論を吟味して討論の準備をする。	○役割分担をすることで生徒全員が活躍できるようにさせる。	・相手の立場による立論や反論を予想し、自分たちの立論や反論の根拠について考えをまとめている。【思】	1
	○学級全体で討論を行い、論題	○電子黒板を利用しながら立	・根拠となる適切な資料	

め	に対する考えを深める。	論や反論をさせることにより、根拠となる資料を明確に示し、相手に分かりやすい議論をさせる。	を用い、自分の考えを公表している。【思】	1
	○問いについての最終的な自分の意見をまとめる。 (意思決定2)	○討論会での意見を振り返らせ、開発と環境保全について考えさせる。	・様々な意見を聞き、判断した上で、自分の考えを表現している。【思】	1
	○単元テストを受ける。	○基礎的・基本的な知識の定着を評価する。	・基礎的・基本的な知識を身に付けている。【知】	

6 本時の目標

アマゾンの開発を進める場合のメリットとデメリットを考え、ブラジルは、熱帯林の伐採による開発を進めるべきかを判断し、理由を付けて記述することができる。

7 展開(全8時間 本時4/8)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○熱帯林が減少している理由について問い、ブラジルが、熱帯林を伐採しアマゾンの開発を行い、経済が成長したことを振り返らせる。 ○森林の役割や貴重な動植物が絶滅の危機に瀕していることを思い出させ、開発の影響にはメリットとデメリットがあることを確認し、本時のめあてにつなげる。
めあて アマゾンの開発について、メリットとデメリットの両面から考えよう。	
2 開発のメリットとデメリットについて学習した内容をまとめ確認する。 ① 小集団で話し合い、ワークシートに記入する。 ② 学級全体で表にまとめ確認する。	○教科書やノートなどで学習を振り返り、ワークシートに記入する作業を通してまとめさせる。 ○開発のメリットとデメリットを比較できるように、表にして板書する。 ○電子黒板で、これまでの学習で使用した写真やグラフなどを提示し、補足説明をする。
予想される板書例	
メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産の拡大 (大豆・牛肉・さとうきび・木材) ・ コーヒーにたよらない農業の実現 ・ 鉱山の開発と鉄鉱石の輸出増加 ・ ブラジルの輸出額の増加 ・ バイオ燃料の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱帯林の減少 →地球温暖化の進行 →貴重な動植物の絶滅
3 表や資料を見て、メリットとデメリットのどちらが大きいと考え、学習問題II	○表を見ながら、誰にとって、どんなメリット・デメリットがあるのか考えさせる。自由に発言させながら、

<p>を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>社会的な問題(解決すべき事柄) 「熱帯林の伐採による開発を進めれば自然環境が破壊されること」</p> </div>	<p>メリットとデメリットのどちらがより大きいか、または、重要・深刻かという視点を示す。</p> <p>○より大きい(重要・深刻)と思う方を選び黒板の表に付箋を貼らせる。また、付箋にはそのように考える理由を書かせておく。いくつかの生徒の意見を読み上げる。</p> <p>○開発を進めなければ仕事ができなくなり生活ができなくなる人たち(熱帯林入植者)と、自然が破壊されれば生活ができなくなる人たち(先住民カラジャス族)についての資料を準備しておき、どちらかの資料を提示することで生徒の考えを揺さぶり、考えを深めさせる。</p> <p>○「開発を進めた場合のメリット・デメリットから総合的に判断するとブラジルは開発を進めるべきなのか」と問題を投げ掛け、学習問題Ⅱの設定へ導く。</p>
<p>論題 ブラジルは、熱帯林の伐採によるアマゾンの開発を進めるべきか。 《学習問題Ⅱ》</p>	
<p>4 学習問題Ⅱについての自分の考えをワークシートに記述する。 (意思決定1)</p> <p>5 次時の学習について確認する。</p>	<p>○理由を付けて記述させる。また、今後調べる必要のある事柄についても考えさせ、討論学習につなげる。</p> <p style="text-align: right;">【評価】</p> <p>○討論会に向けて準備をすることを伝え、次時以降の学習への見通しをもたせる。</p>

8 本時の評価

<p>本時の評価規準</p>	<p>アマゾンの開発を進める場合のメリットとデメリットを考え、ブラジルは、熱帯林の伐採による開発を進めるべきかを判断し、理由を付けて記述している。 (社会的な思考・判断・表現)</p>		
<p>判定基準 (判断のめやす)</p>	<p>十分満足できる状況(A) 学習問題Ⅱについて、メリットとデメリットに着目して判断している。また、その理由だけでなく、今後調べる必要があると考える事柄を付け加えて記述している。</p>	<p>おおむね満足できる状況(B) 学習問題Ⅱについて、メリットとデメリットに着目して判断し、理由を付けて記述している。</p>	<p>努力を要する状況(C) (B)に達していない記述</p>
<p>→(B), (C)と判断した生徒への支援策</p>		<p>→判断するのに必要な資料にはどんなものがあるかを考えるよう指示する。</p>	<p>→板書を参考にして、メリットとデメリットのどちらを重視すべきなのかを問い、意思決定をさせる。</p>
<p>評価方法</p>	<p>ワークシートの記述</p>		